

ニュースレター 事業短信

2012(平成24)年2月20日(月) No.74

<発信者> 社会福祉法人愛光理事長・法澤奉典
043・484・6391(本部) / 043・484・6571/理事長室直通
URL <http://www.rc-aikoh.or.jp/> Email mail@rc-aikoh.or.jp

語りかけるように歌う「祈り」

シャンソン歌手・クミコさんを迎えて、2月12日(日曜日)、満員の京葉銀行文化プラザにおいて、第5回ひびきあい・あいとひかりのコンサートが開催されました。「上を向いて歩こう」に始まる全12曲+2曲を熱唱、施設利用者やご家族を含め、600人の来場されたお客様の胸の奥底にまで語りかけるようなステージでした。公演後、会場ロビーでは「握手会」も開かれ、クミコさんと来場者との交流もありました。

翌13日のクミコさんのブログにはこう感想が綴られていました。

『愛光』という障害を持たれる方のお入られる施設/そこで働く女性との出会いからすべてがはじまった/やっと叶ったコンサート/客席には、一般の方々と障害のある方がたとそのご家族/みんな一緒/開演前に、舞台監督からいわれた/『時々、声をあげられる方がいると思いますが、気にしないでください』/直前だったので、ちょっとうろたえ/でも/けっして動じないように自分に言い聞かせる/はたして、時々様々な声はあったものの、ノンストップ約1時間半のステージは、暖かいココロが会場を満たす中終わった……(以下略)

クミコさんの側にも、何か伝わったようです。

▽日誌抄録(2012.1.1~)

1/1(日) 元旦

4(水) 仕事始め

9(月) 成人の日/全国高校サッカー選手権で千葉県代表市立船橋高校が優勝

10(火) 運営会議(月次報告)

12(木) 成人を祝う会(根郷通所センター)

13(金) 法人職員合同新年会(千田ホール)

19(木) 後援会運営委員会

20(金) 首都圏各地でこの冬の初雪観測

23(月) 運営会議(チューター制度施行PT報告)

24(火) 通常国会開幕

28(土) 理事会

2/1(水) 愛光研究発表会(千田ホール)/根郷地区小学生書き初め展(ギャラリー愛光)

3(金) 節分

4(土) 立春

10(金) 古川弘元監事告別式

12(日) あいとひかりのコンサート(クミコ「祈り」を歌う/京葉銀行文化プラザ)

13(月) 運営会議(月次報告)

▽おもな動き

協賛御礼～あいとひかりのコンサート 2012～

後援会・愛の灯台基金主催「あいとひかりのコンサート」(2月12日)の開催にあたり、下記の皆様よりご協賛いただきました。心より感謝申し上げます。
(ご芳名五十音順)

阿崎電気工事様・アシスト設計様・池野通建^(株)様・^(株)亜図様
居酒屋よろづや様・^(株)石川自動車工業様・^(株)いしばし様・
いとうクリニック様・ウルノ商事^(株)様・エクセルエイド少額短期保険^(株)様・
江戸川大学総合福祉専門学校様・川村英司様・関東給食^(株)様・
君塚商会^(株)様・京葉銀行佐倉山王出張所様・
坂本&パートナーズ会計事務所^(株)様・佐倉きのご園様・佐倉山王郵便局様・
佐倉中央病院様・^(株)ジャスティカ様・淑徳大学様・城西国際大学様・
白銀クリニック様・第一総業^(株)様・大京食品^(株)様・
千葉県ヤクルト販売^(株)様・デンタルサポート様・^(株)東基様・
トヨタレンタリース千葉リース成田店様・花の西洋館様・
ファミリーショップいとう様・村上薬局様・原田八幡様・
^(株)山武ビルシステムカンパニー様・ワイビーサービス^(株)様

中央競馬馬主社会福祉財団助成事業

同財団より136万円の助成をいただき、1月31日、利用者の食事サービスに欠かせない食器消毒保管庫(購入価格220万5千円)の整備を完了いたしました。1994年以来使用してきたもので、経年劣化から更新の必要を迫られておりました。財団のご高配に厚くお礼申し上げます。

定期理事会

1月28日(土)、本年度第10回の理事会(定例会)を開催、理事9名、監事2名のほか関係職員が出席し、下記議案を審議しました。

- (1)2012年度事業計画・予算編成方針について(意見交換)
- (2)2012年度人事計画について(理事長提案を承認)
- (3)障害者支援施設における処遇支援システムの更新について(提案の承認)

■訃報：古川弘元監事ご逝去

1988(昭和63)年1月から1995(平成7)年12月まで、当法人監事を務められた古川弘(ふるかわひろし)様が去る2月5日永眠されました。(享年87)

古川先生は千葉県における知的障害児・者福祉の推進に生涯を捧げられ、関係福祉施設の全国組織である日本精神薄弱者愛護協会(現知的障害者福祉協会)副会長、同協会県会長を歴任され、当法人とは初代加藤理事長時代よりご交誼いただいていたまいりました。在りし日を偲び、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

■職員状況 2012年1月中	*採用1(パート1) *退職0 *2012.1.31現在：職員現員315人 (正職150・サポート又は常勤嘱託36・パート又は非常勤嘱託129) *ほかに育児休業5・休職2
-------------------	--

▽トピックス

デイジー図書の普及を

「デイジー図書」と聴いても、大方は「それ、何？」だと思います。Digital Accessible Information System の頭文字をとって DAISY(デイジー)。直訳しても「アクセシブルな情報システム」。従来、カセットテープに録音して視覚障害者の読書を支援していた方法に代わる、CD版デジタル録音方式の音訳図書のことです。カセット方式に比べ、長時間録音も可能で、デジタル機器同様、多様な機能を備え、近年急速に普及している「福祉版デジタル革命」の1つです。一般の印刷物を読めない視覚障害者への情報提供は、点字図書館に専有されるものでなく、この方式による音声情報は公的機関においても採用され、デイジー版CDが製作されることも期待されます。視障センターでは、1月25日、県内の社会福祉協議会等に所属する音訳者に対する「デイジー録音・編集技術講習会」を開催しました。当日は10団体から20名が受講、また2月15日には第2回を開催しました(11団体27人受講)。

小笠原選手 2000 本安打記念品

プロ野球・読売巨人の小笠原道大(みちひろ)選手(千葉市出身)からは、毎年法人に対するご支援をいただいています。昨年5月、プレーヤーとしての金字塔・2000本安打を達成されたことは話題にもなり、法人からもお祝いのメッセージをお送りしました。その小笠原選手から、このほど2000本安打達成の記念品をいただきました。2000個のボールをデザインしたオリジナル風呂敷は、いわば「プレミアム・グッズ」。法人での保存・展示用と職員の研究発表会優秀賞として使わせていただきました。小笠原選手は、昨シーズンはケガなどもあって不本意な結果でしたが、今シーズンの活躍を確信しています。

(写真) 終演後のクミコさんと役員



(写真) 利用者作品のストールを巻いて歌うクミコさん



▽チャレンジ

成果発表と改善提案

法人職員の仕事とは、大まかには「福祉サービスの提供」となります。それは介護・支援・相談業務に代表されますが、そのほかに医療・看護・リハビリ・栄養管理・事務・設備管理・環境整備・クリーニング…と多種の担当業務によって構成されています。またそれらの「協働の場」であるという特徴があります。これら法人事業を支えるすべての業種で、日々の仕事を見直し、改善点を発見し、職場全体に提案していくという取り組みが始まりました。2月1日、千田ホールに約70人の職員が参加して行なわれたのが「第1回愛光研究発表会」。「研究」の2文字がやや重く感じられますが、身近な改善を要する問題を持ち寄ろう、と研修委員会（安部一義委員長）が呼びかけたところ、8題の発表申し込みがあり、審査の結果、麻生知明主任ケアスタッフのターミナルケアへの取り組みが最優秀とされました。トヨタ式「カイゼン」運動が組織の活性化に貢献したのは世界的に有名な話です。「愛光式」がどうか開くか、次回が楽しみです。ご参考までに、発表会当日の発題テーマと発表者をご紹介します。

- ①「しゃべるパソコンでネットサーフィン～Google検索によるキーワード検索とキーボードナビゲーションの実例」（御園政光：視障センターちば）
- ②「農耕班今昔物語」（小出博美ほか：障害者支援施設日中活動グループ）
- ③「精神科薬に対する理解～ヘレンホームの取り組み～」（久保りえ：ルミエール）
- ④「ヒヤリ・ハットは現場で活用されているのか」（杉崎聡ほか：めいわ）
- ⑤「合言葉は『リカバろう！？』（大竹美穂：よもぎの園）
- ⑥「リハビリ班『305歩のマーチ』～リハビリ班の10か月」（斎藤理江ほか：障害者支援施設日中活動グループ）
- ⑦「利用者の権利を守るために」（斎藤英樹ほか：ルミエール）
- ⑧「ターミナルケアについて」（麻生知明：はちす苑）

「チューター制度」始動

「鉄は熱いうちに打て」という格言は新人教育に引用されます。「人財づくり」は愛光喫緊の課題です。良く言えば、牛や馬の生育に習う「放牧」がこれまでのやり方でした。しかしそれで育つ人材は、はっきり言って少ないことに気づきました。毎年数十人採用する職員に、統一した体系的な研修やOJTを実施すべきと、本年度コンサルタントを迎え、導入の準備をしてきました。チューター（新人教育担当職員）が、いわば“マン・ツー・マン”で仕事のイロハから、組織人、社会人として一人歩きしていく手伝いをする…チューターにはベテランよりも成長途上にある中堅若手がベストとされます。「ともに育つ」効果を期待して、2012年4月採用から実施してまいります。

▽マイタウン

恒例！小学生書き初め展

新年恒例になりましたギャラリー愛光の「小学生書き初め展」。本年も山王小学校、根郷小学校、寺崎小学校のご協力をいただき、2月1日より開催しております。今年は新たに「市長賞」が加わり、先日蕨和雄市長が愛光に来訪され、自ら審査されました。ほかに後援会会長賞、理事長賞も選ばれ、近日中に受賞者には賞状と記念品が渡されることになっています。

災害と福祉施設

「3.11」から1年。あの教訓を生かそうと、さまざまな取り組みが行なわれています。佐倉市では、災害発生時、高齢者や障害者への対応を検討中で、このほど市内にある福祉施設に「福祉避難所協定」締結の提案がなされました。福祉施設は介護や支援のノウハウとともに、建物に耐震設計が施されていますので、地域で被災したこれら「災害弱者」の避難先としては好条件と言えます。受け入れに際しての詳細な詰めは残されていますが、愛光としても、災害時の地域支援活動のひとつとして、積極的に取り組んでいこうと考えております。

(写真) 小学生書き初め展に来所された蕨市長

